

## ご 挨 拶

公立大学法人横浜市立大学附属市民総合医療センター

総合周産期母子医療センター 准教授

関 和男

第 29 回日本母乳哺育学会・学術集会を平成 26 年 10 月 11 日（土曜日）、10 月 12 日（日曜日）に横浜市教育会館において開催させていただきます。堀内勁先生の会頭のもとで開かれた第 20 回学術集会以来 9 年ぶりの横浜開催となります。

日本母乳哺育学会は、母乳でこどもが育つ・母が育てることについて、学術的に研究し、科学的な根拠を求め、社会に発信し、医学に還元することを目的としています。

厚生労働省の平成 22 年の乳幼児栄養調査によれば、最近の 10 年で、1～2 カ月での母乳で育つ・育てている率は 51.6% と上昇し、さらに 4～5 カ月でも 55.8% と低下しなくなってきております。また、少しでも母乳を与えられている・与えている率でみると 1～2 カ月で 95.4%、4～5 カ月で 89.1% でした。これらは、米国の Healthy people 2020 の目標値、exclusively breastfed 3 カ月 46.2%、6 カ月 25.5%、breastfed 6 カ月 60.6% をはるかに上回っています。

厚生労働省による「授乳・離乳の支援ガイド」の策定や日本産婦人科学会の「産婦人科診療ガイドライン」に WHO/UNICEF の「母乳育児成功のための 10 カ条」が記載されるなどの変化や、実際に母子同室、赤ちゃんの要求に従った授乳など、10 カ条に沿ったケアを行う施設も増えており、母乳育児についての社会、医療の環境が変わってきたことも感じられます。

今回の学術集会では、母乳育児におけるいくつかの問題点を中心に最新の情報に基づいて議論し方向性を示す場にできればと考えております。

ひとつはビタミン D 不足の問題で、本邦でのビタミン D 補充について現状と今後の方向性について考えたいこと、もうひとつは、いわゆる母乳性低血糖と言われる母乳育児関連の低血糖について、客観的、科学的視点での評価と用語についても提案できればと思います。さらに低出生体重児、早産児の鉄欠乏についても、もう一度状況を確認し、現実的な対応について考えたいと思います。

学会主催の勉強会でも教育委員会に企画をお願いしております。

横浜市立大学附属市民総合医療センター総合周産期母子医療センタースタッフ一同、学術集会の開催に向けて準備を進めております。横浜でお会いできることを心よりお待ちしております。

## 目 次 — Index —

第 29 回日本母乳哺育学会・学術集会のご案内 .....	1
交通と会場のご案内 .....	2
学術集会参加者の皆様へ .....	3
演者・座長の方へのご案内 .....	5
日程表 .....	7
プログラム .....	8
会長講演、特別講演 .....	11
教育講演 .....	15
シンポジウム .....	19
パネルディスカッション .....	23
教育委員会主催勉強会 .....	29
ランチョンセミナー .....	41
一般演題 .....	45

## 第 29 回日本母乳哺育学会・学術集会のご案内

- 会 長 関 和男  
(横浜市立大学附属市民総合医療センター  
総合周産期母子医療センター 准教授 )
- 会 期 平成 26 年 10 月 11 日 (土) ~ 12 日 (日)
- 会 場 横浜市教育会館  
〒 220-0044 横浜市西区紅葉ヶ丘 53 番地
- 理事会 平成 26 年 10 月 11 日 (土) 12:00 ~ 12:50  
横浜市教育会館 2 階 第 1 会議室
- 総 会 平成 26 年 10 月 11 日 (土) 13:00 ~ 13:15  
横浜市教育会館 4 階ホール (学術集会会場)
- 会員懇親会 平成 26 年 10 月 11 日 (土) 18:00 ~ 20:00  
伊勢山ヒルズ「RISTORANTE MANGIARE」  
〒 220-0031 横浜市西区宮崎町 58-3

### 第 29 回日本母乳哺育学会・学術集会 事務局

〒 232-0024 横浜市南区浦舟町 4-57

横浜市立大学附属市民総合医療センター 総合周産期母子医療センター

TEL : 045-261-5656 FAX : 045-241-5550

URL <http://bonyu29.umin.jp/>

# 日 程 表

会場：横浜市教育会館

	【1日目】 10/11(土)	【2日目】 10/12(日)
8:00		
9:00	8:50～ <b>開会の辞</b> 9:00～12:00 <b>教育委員会主催勉強会</b> 社会復帰と母乳育児  座長：滝 元宏  演者：小林 美希 滝 元宏 齋藤 みゆき 光畑 由佳 千葉 明子 上岡 恵子 田中 礼子	9:30～11:30 <b>シンポジウム</b> 正常からの逸脱をどう考えるか  座長：堺 武男 井村 真澄  演者：滝 元宏 二谷 武 佐藤 義朗
10:00		
11:00		
12:00	12:00～13:00 <b>ランチョンセミナー I</b> 乳幼児に増加するビタミンD 欠乏・くる病 演者：北中 幸子 座長：小田 洋一郎 共催：ノボ ノルディスクファーマ株式会社	11:45～12:45 <b>ランチョンセミナー II</b> 新生児のCMV感染症 演者：水野 克己 座長：関 和男 共催：株式会社シテスト
13:00	13:00～13:15 <b>日本母乳哺育学会総会</b> 13:15～13:45 <b>会長講演</b> 「授乳と薬剤」と「Baby Friendly Hospital」 演者：関 和男 座長：板橋 家頭夫	13:00～13:40 <b>教育講演 II</b> ビタミンK欠乏性出血症と母乳育児 演者：伊藤 進 座長：西巻 滋
14:00	13:50～14:30 <b>教育講演 I</b> ビタミンD Update 演者：道上 敏美 座長：杉本 充弘	13:40～14:10 <b>一般演題</b> 自然人類学 座長：薦谷 匠  14:10～14:40 <b>一般演題</b> 母乳中成分・測定 座長：宮沢 篤生
15:00	14:30～15:30 <b>特別講演</b> 母乳育児の最新知見と専用発育曲線の重要性 演者：山城 雄一郎 座長：関 和男	14:40～15:35 <b>一般演題</b> 育児支援1 座長：北村 知宏
16:00	15:30～17:30 <b>パネルディスカッション</b> BFHとEBMに基づく教育  座長：水野 克己 涌谷 桐子  演者：本郷 寛子 井本 寛子 谷口 紗恵子 三木 佐知子	15:35～16:40 <b>一般演題</b> 育児支援2 座長：井村 真澄  16:40～16:50 <b>閉会の辞</b>
17:00		
18:00	18:00～20:00 <b>会員懇親会</b> 伊勢山ヒルズ「RISTORANTE MANGIARE」	

# プログラム

1日目：10月11日（土曜）

8:50～9:00 開会の辞

9:00～12:00 教育委員会主催勉強会 「女性の社会復帰と母乳育児」

座長：滝 元宏（昭和大学医学部小児科）

演者：小林 美希（ルポライター）

基調講演「女性の社会進出と母乳育児の両立は可能か？」

演者：滝 元宏（昭和大学医学部小児科）

「母乳育児支援者の立場から」

演者：齋藤みゆき（ラ・レーチェ・リーグ横須賀）

「母親の立場から」（子連れ出勤と母乳育児）

演者：光畑 由佳（NPO 法人子連れスタイル推進協会）

「職場の立場から」

演者：千葉 明子（ぽかぽか保育園）

「保育園の立場から」

演者：上岡 恵子（International Labour Organization 駐日事務所）

「法律の立場から」

演者：田中 礼子（横浜市こども青少年局子育て支援部保育対策課）

「行政の立場から」

12:00～13:00 ランチオンセミナーI 「乳幼児に増加するビタミンD欠乏・くる病」

座長：小田 洋一郎（茅ヶ崎市立病院小児科）

演者：北中 幸子（東京大学医学部附属病院小児科）

共催：ノボ ノルディスクファーマ株式会社

13:00～13:15 日本母乳哺育学会 総会

13:15～13:45 会長講演 「授乳と薬剤」と「Baby Friendly Hospital」

座長：板橋 家頭夫（昭和大学医学部小児科）

演者：関 和男（横浜市立大学附属市民総合医療センター

総合周産期母子医療センター）

13:50～14:30 教育講演I 「ビタミンD Update」

座長：杉本 充弘（日本赤十字医療センター周産母子・小児センター）

演者：道上 敏美（大阪府立母子保健総合医療センター

研究所環境影響部門）

14:30～15:30 特別講演 「母乳育児の最新知見と専用発育曲線の重要性」

座長：関 和男（横浜市立大学附属市民総合医療センター

総合周産期母子医療センター）

演者：山城 雄一郎（順天堂大学大学院プロバイオティクス研究講座）

15:30～17:30 パネルディスカッション 「BFHとEBMに基づく教育」

座長：水野 克己（昭和大学江東豊洲病院小児内科）

涌谷 桐子（沖縄県立看護大学 保健看護学研究科）

演者：本郷 寛子（IBCLC, 東京大学国際保健学専攻国際地域保健学教室）

「施設管理者への教育

～ BFHI を、発進、強化、維持するために：Step1 ～」

- 演 者：井本 寛子（助産師，日本赤十字社医療センター）  
「スタッフ教育  
～スタッフが変わればお母さんも変わる：Step2～」
- 演 者：谷口 紗恵子（助産師，横浜市立大学附属市民総合医療センター）  
「母親教育  
～お母さんにやさしい情報とは：Step3、4、5、6、7、8、9～」
- 演 者：三木 佐知子（IBCLC）  
「ピアカウンセリング  
～お母さんたちのグループの力：Step10～」

18:00～20:00 会員懇親会 伊勢山ヒルズ「RISTORANTE MANGIARE」〔参加費〕 ¥1,000

2日目：10月12日（日曜）

- 9:30～11:30 シンポジウム 「正常からの逸脱をどう考えるか」  
座 長：堺 武男（さかいたけお赤ちゃん こどもクリニック）  
井村 真澄（日本赤十字看護大学）  
演 者：滝 元宏（昭和大学医学部小児科）  
「母乳栄養関連低血糖」  
演 者：二谷 武（富山県立中央病院小児科）  
「体重減少と脱水」  
演 者：佐藤 義朗（名古屋大学医学部附属病院  
総合周産期母子医療センター）  
「低血糖を呈する遅発性進行性周産期脳障害」
- 11:45～12:45 ランチョンセミナーⅡ 「新生児のCMV感染症」  
座 長：関 和男（横浜市立大学附属市民総合医療センター  
総合周産期母子医療センター）  
演 者：水野 克己（昭和大学江東豊洲病院小児内科）  
共 催：株式会社シノテスト
- 13:00～13:40 教育講演Ⅱ 「ビタミンK欠乏性出血症と母乳育児」  
座 長：西巻 滋（横浜市立大学小児科）  
演 者：伊藤 進（香川大学医学部小児科）
- 一般演題
- 13:40～14:10 【自然人類学】  
座 長：蔦谷 匠（東京大学大学院新領域創成科学研究科）
- 14:10～14:40 【母乳中成分・測定】  
座 長：宮沢 篤生（昭和大学医学部小児科）
- 14:40～15:35 【育児支援1】  
座 長：北村 知宏（順天堂大学医学部小児科思春期科）
- 15:35～16:40 【育児支援2】  
座 長：井村 真澄（日本赤十字看護大学）
- 16:40～16:50 閉会の辞  
次期会長ご挨拶

## 一般演題

13:40 ~ 14:10 自然人類学

座長： 蔦谷 匠 Takumi Tsutaya  
東京大学大学院新領域創成科学研究科

1-1) 過去1万年間における離乳後小児の食性：炭素同位体分析データのメタ解析

**奨励賞**

蔦谷 匠 Takumi Tsutaya  
東京大学大学院新領域創成科学研究科

1-2) 妊娠中および授乳中の野生オランウータンのホルモン動態

久世 濃子 Noko Kuze  
独立行政法人国立科学博物館人類研究部

1-3) 野生チンパンジーの授乳と子育て

松本 卓也 Takuya Matsumoto  
京都大学理学研究科人類進化論研究室

## 一般演題

14:10～14:40 母乳中成分・測定

座長：宮沢 篤生 Tokuo Miyazawa  
昭和大学医学部小児科

- 2-1) 母乳哺育実施中の母親が行う乳房ケア“圧抜き”の有効性の検証  
—乳汁うっ滞に伴う自覚症状 VAS と血清プロラクチン濃度の変化から—  
新池 里沙子 Risako Shinike      立岡 弓子 Yumiko Tateoka  
滋賀医科大学医学部看護学科
- 2-2) 極低出生体重児におけるサイトメガロウイルスの経母乳感染の検討  
滝 元宏 Motohiro Taki      初野 美智 Misato Hatsuno  
宮沢 篤生 Tokuo Miyazawa      水野 克己 Katsumi Mizuno  
板橋 家頭夫 Kazuo Itabashi  
昭和大学医学部小児科学講座
- 2-3) 人乳中のレプチン・グレリン濃度と総たんぱく質との関連性  
若菜 宣明<sup>1)</sup> Noriaki Wakana      本間 和宏<sup>1)</sup> Kazuhiro Homma  
山村 節子<sup>2)</sup> Setsuko Yamamura      田中 越郎<sup>1)</sup> Etsuro Tanaka  
<sup>1)</sup> 東京農業大学応用生物科学部栄養科学科  
<sup>2)</sup> アクア・バースハウス



# 一般演題

14:40 ~ 15:35 育児支援1

座長：北村 知宏 Tomohiro Kitamura  
順天堂大学医学部小児科・思春期科

3-1) 栄養方法と感染症発症率について、当院アンケート調査結果からの解析

黒須 英雄 Hideo Kurosu  
独立行政法人国立病院機構京都医療センター小児科

3-2) 東日本大震災前後の母乳栄養率と EPDS 得点の比較

佐藤 恵 Megumi Sato 岩脇 寿奈子 Sunako Iwawaki  
昆 千宜 Chinori Kon  
岩手県立磐井病院

3-3) 双子での早期同時授乳開始による1カ月健診時栄養方法の変化

堀家 王代<sup>1)</sup> Kimiyo Horike 加藤 育子<sup>2)</sup> Ikuko Kato  
<sup>1)</sup> 四国こどもとおとなの医療センター不妊治療センター  
<sup>2)</sup> 香川大学医学部附属病院小児科

3-4) 地域の母乳率推移と赤ちゃんにやさしい病院

平林 円 Madoka Hirabayashi  
大阪市立十三市民病院小児科

3-5) 当院における不妊症治療妊娠例の母乳率の推移 特に PCO 症例を中心に

谷口 武 Takeshi Taniguchi  
医療法人定生会谷口病院

3-6) 母乳率低下を防ぐ当院での関わり

木村 光南 Mitsuna Kimura 鈴木 春菜 Haruna Suzuki  
鈴木 薫 Kaoru Suzuki 森 彩乃 Ayano Mori  
飯田 真由美 Mayumi Iida 伊藤 由子 Yuhko Itou  
田中 滋己 Shigeki Tanaka  
国立病院機構三重中央医療センター東4病棟

## 一般演題

15:35 ~ 16:40 育児支援2

座長：井村 真澄 Masumi Imura  
日本赤十字看護大学

4-1) 母性看護学領域における母乳育児に関する教育の質的向上を目指して  
早川 有子 Yuko Hayakawa 中島 久美子 Kumiko Nakajima  
群馬パース大学保健科学部看護学科

4-2) 母乳育児教育「母乳育児の探求」による実践能力の評価  
—看護学生のアンケート調査より—  
田中 静枝 Shizue Tanaka 三宅 美恵子 Mieko Miyake  
関西医療大学保健看護学部保健看護学科

4-3) 分娩後48時間以内の母子分離状態での経時的搾乳量変化  
**奨励賞** 加藤 育子<sup>1)</sup> Ikuko Kato 堀家 王代<sup>2)</sup> Kimiyo Horike  
<sup>1)</sup> 香川大学医学部附属病院小児科  
<sup>2)</sup> 四国こどもとおとなの医療センター不妊治療センター

4-4) 早期母子接触時の新生児の吸啜について  
吉野 和男 Kazuo Yoshino  
吉野産婦人科医院

4-5) 母乳相談外来における乳房トラブル症例の検討  
秋葉 和敬 Kazuhiro Akiba 秋葉 真佐子 Masako Akiba  
秋葉産婦人科病院

4-6) 当院における乳腺炎治療マニュアル  
秋葉 和敬 Kazuhiro Akiba 秋葉 真佐子 Masako Akiba  
秋葉産婦人科病院

4-7) NICUに生後2日目に低血糖で搬送された正期産児の母乳育児支援についての考察  
桑野 綾子 Ryoko Kuwano 小野澤 みのり Minori Onozawa  
新潟市民病院総合周産期母子医療センター新生児内科